

様式（第5条関係）

会議録

会議の名称	平成28年度第2回行田市郷土博物館協議会
開催日時	平成29年2月7日（火） 開会：午前10時00分・閉会：午前11時00分
開催場所	郷土博物館2階 会議室
出席者（委員） 氏名	漆原亮 柏瀬裕之 宮本伸子 大澤弘 佐々木正純 鈴木征子 若松良一 大山能則 板垣時夫 堀秀雄
欠席者（委員） 氏名	
事務局	館長 萩原康弘 副館長 鈴木紀三雄 主任 浅見貴子 主事 澤村怜薫 飯塚千絵
会議内容	平成28年度下半期事業報告 平成29年度事業計画 その他
会議資料	平成28年度第2回行田市郷土博物館協議会次第 平成28年度第2回行田市郷土博物館協議会資料
その他の必要項目	傍聴人なし

発 言 者	会 議 の 経 過 (議題・発言内容・結論等)
	<ul style="list-style-type: none"> * 市民憲章唱和 * 館長あいさつ * 会長あいさつ
事 務 局 (鈴木)	<p>議 事</p> <p>それではこれより議事に入る。進行は会長にお願いする。</p>
鈴 木 会 長	<p>議事に入る前に、本日の協議会については公開をお願いしている。 公開について異存はないか。</p>
委 員	<p>公開としてよい。 (傍聴人なし)</p>
鈴 木 会 長	<p>また本日の議事については議事録を作成する予定である。議事録の最後に確認の署名を2名の方から頂戴したい。この場でどなたかにお願いしたいが、事務局より提案はあるか。</p>
事 務 局 (鈴木)	<p>それでは、名簿の順番で大山委員、板垣委員にお願いしたい。</p>
鈴 木 会 長	<p>それでは、そのようにお願いする。 では、次第に従って議事に入る。 始めに(1)の平成28年度下半期事業報告について事務局より説明をお願いする。</p>
	<p>(事務局より、管理部門 資料を説明) (事務局より、学芸部門 資料を説明)</p>
鈴 木 会 長	<p>ただいま事務局より説明があったが、どなたかご質問等があったらお願いする。</p>
事 務 局 (館長)	<p>情報提供だが、当館で2月9日にテレビ朝日「グッド！モーニング」の天気予報の撮影が行われ、放送される予定である。5分程</p>

	度だが、余裕があつたらご覧いただければと思う。
鈴木会長	ありがとう。他にどなたかご質問はあるか。
板垣委員	今年度のテーマ展で行田の足袋をテーマに展示を行った関連で、足袋関係の企画をいくつか実施したようだが、現在行田の足袋については、小説化されたり、これからテレビドラマ化されたり、いろいろな面で注目されている。今後足袋については、展示だけでなく、その他にも足袋を使って楽しめるものが博物館にあると行田市の活性化にもつながるのではないかと思われる。何らかの形で足袋を活かせるものを作ってもらえばと思う。
事務局 (鈴木)	現在博物館では、国登録有形民俗文化財「行田の足袋製造用具及び製品」の整理を行っている。市でも行田足袋活性化事業を立ち上げた。こちらは商工部門であり、行田の足袋産業の振興を図る委員会を作った。もちろんその中には行田の足袋のPRも踏まえている。博物館も委員会に加入しており、来年度以降、足袋に関する体験学習が組まれていくと思われる。また、「陸王」がテレビドラマ化されるということもあるので、対応を考えていきたい。
鈴木会長	ありがとう。確かに、行田は足袋で有名なので、テレビドラマの放送を見て見学に来る方が増えるのではないかと思われる。対応をよろしくお願いしたい。他に意見はあるか。
柏瀬委員	小学生の見学対応で3年生の見学が多いが、その理由を教えてほしい。
事務局 (澤村)	社会科における郷土の歴史の学習をどの小学校も3年生で扱うことになっているため、市内の小学校の多くがその授業の一環で見学にきているのではないかと思われる。
柏瀬委員	職場体験学習ではどのような内容のものを行っているのか。
事務局 (浅見)	体験学習で使う材料の準備や展示パネル製作の資料をまとめたり実際にパネルを切ってもらったりした。基本的には博物館ではどんな仕事を行っているのかを体験してもらうのが主になるので、

	できるだけ万遍なく体験してもらえるように学芸部門の仕事、管理部門の仕事それに少しずつ携わってもらった。
鈴木会長	「陸王」についてだが、小説を執筆するにあたり実際に行田に取材に来たのか。
事務局 (鈴木)	当初作者は、地下足袋を作っている会社をモデルにしたかったらしいが、行田では地下足袋を作っている会社がなかったため足袋屋がモデルになったと聞いている。実際に行田に来て、足袋屋を見学し、当館にも見学に来たらしい。ただ、小説では足袋屋を題材としているが、実際にどこの足袋屋がモデルということではないそうだ。
事務局 (館長)	市長は行田がモデルになったというだけでなく、行田市内で撮影できないかとお願いしていると聞いている。行田市民にも協力してもらって、市内がドラマに出てくるようにお願いしているということである。
事務局 (鈴木)	「陸王」の作者は「下町ロケット」の作者でもあり、「下町ロケット」がドラマ化された際は、河川敷の町工場ということで地域が特定されていなかったが、「陸王」では、行田の足袋屋ということで地域が特定される。そのため、ドラマでも行田という言葉が出てくるので、宣伝効果があると思われる。
事務局 (館長)	主役は役所広司で有名な俳優であるし、「下町ロケット」は視聴率が良かったのでそれに乗ればと思う。
鈴木会長	かつては地下足袋も生産していたが、海外へ移ってしまった。
事務局 (鈴木)	地下足袋の製造工程が行田で見られなかつたということで、足袋屋がモデルになつたらしい。
鈴木会長	ご意見ありがとう。 (1) の平成28年度下半期事業報告については終了する。次に (2) の平成29年度事業計画について事務局よりお願いする。

	(事務局より、資料の説明)
鈴木会長	事務局より説明があったが、ご質問ご意見があつたらお願ひする。
事務局 (鈴木)	補足説明をする。屋上の防水工事についてだが、当館は屋上の陸屋根部分が全部で4箇所ある。3分割して、3ヵ年計画で行う。状態を確認して一番劣化の激しいところから行う。来年度は収蔵庫の陸屋根部分、再来年度は展示室の陸屋根部分、3年目がバッカヤードの屋上という形で実施をする予定である。
事務局 (館長)	1階の女子トイレの改修工事について補足する。現在個室が3つあるうち洋式トイレは1つだが、和式の1つを洋式に改修し、もう1つ洋式トイレを増やす。ウォシュレットも付いている。近年バスの団体客が多くなっており、洋式トイレに列ができてしまうことが多々あるため、新年度予算として要求することにした。
鈴木会長	男子トイレも同じか。
事務局 (鈴木)	男子トイレについては、個室が2つあり、和式トイレと洋式トイレそれぞれ1つずつある。和式がいいという人もいるので、1つは和式を残す必要がある。
鈴木会長	洋式トイレを増やしてもらえることはありがたいことである。
事務局 (館長)	学校のトイレはいかがか。全部洋式トイレになっているのか。
柏瀬委員	学校のトイレはほとんど洋式になってきているが、ウォシュレットと暖房がついていない。数年かけて洋式トイレの改修工事を進めており、まだ全部は洋式トイレになっていない。
鈴木会長	他の博物館を訪れても和式トイレのところが多い。
事務局 (鈴木)	昭和50年代末～平成初頭のバブル期に建てられた博物館が多く、その頃の主流がまだ和式だったためだと思われる。

事務局 (館長)	公民館も和式を1つ残していると思う。
大山委員	公民館も和式を1つ残している。やはり和式がいいという人がいる。
鈴木会長	障害者用トイレはどうなっているのか。
大山委員	多目的トイレがまた別にある。
若松委員	防水工事についてよろしいか。ある博物館の学芸課長をしているときに大変な経験をしたので、事前に注意喚起しておきたいのだが、収蔵庫の防水用のライニングが劣化していたので交換工事に入ったが、大雪が降り、養生が不十分であったために天井が漏水して収蔵庫が水浸しに近い状態になってしまったという修羅場を経験した。業者は細心の注意をしてくれると思い込んでしまうが、施工時期を選ぶことが重要であり、またもしもの場合にはどうゆう対策が取れるか備えをした上で実施していただければと思う。
鈴木会長	他にいかがか。
宮本委員	まだ今の段階であれば、行田市内の足袋蔵の中に荷物が納まつたまま置いてあり、そこを片付けると行田の歴史を語るようなものがまだ出てくると思われるが、何年か経つと処分してしまうのではないかと危惧している。今行田の足袋が注目されてきたところで、市民に注意喚起をして資料を提供してもらったり、こちらから足を運んだりして、有益な資料を今のうちに集めておく工夫ができるのかと思う。 視察ではかみつけの里博物館に行かれたということだが、こちらではミュージアムグッズをたくさん作っているということで、やはり今どきのミュージアムにグッズがないのは寂しいと思う。親しみを持ってもらうグッズがあるといい。いわゆる行田に観光に来て単なる観光土産ではなく、行田に行った記念に自分の手元に残しておける物があるとか、誰かにこんなところへ行ったのだとあげられるものを作っていただけすると嬉しい。ものつくり大学にも最近海外からお客様が来るので、その方にあげるのも良いかな

	と思っている。
事務局 (鈴木)	足袋資料の収集について、おっしゃるとおりである。当館の収蔵庫は飽和状態であるが、博物館の役割を考えるときちんと資料の収集は行なわなければならない。終戦50周年の時には、市報で戦時資料の提供を呼びかけたりした。そのような方法もあるので、資料の収集に努めていきたい。 ミュージアムグッズについてだが、かみつけの里博物館は60アイテムぐらい持っており、ポスター・チラシを含めた宣伝費で製作していると聞いている。当館のミュージアムグッズは図録のほか、クリアファイル4種類、一筆箋2種類、絵葉書2種類、町歩き用の今昔地図等がある。グッズを作る際は、博物館の資料を紹介するものや行田の歴史に絡めたような内容で作らないと普通の土産物屋と同じになってしまうので、その点について考え検討してみたいと思う。
鈴木会長	ミュージアムグッズはほしいと感じる。検討をお願いしたい。 足袋の資料については、昔やっていた足袋屋にまだたくさん残っているようだが、代が変わると処分してしまうこともあるそうだ。こちらに保管場所を確保することは難しいのか。
事務局 (鈴木)	収蔵庫はいっぱいだが、保管場所を探したいと思う。
鈴木会長	他に何かあるか。事務局よりいろいろと説明があったが、ないようであれば(2)平成29年度事業計画についてはこれで終了する。ありがとう。 最後に(3)その他について事務局よりお願いする
事務局 (鈴木)	特ではない。
鈴木会長	それでは、以上で議事は終了する。皆さんのご協力で議事がスムーズに進行したことに感謝を申し上げたい。では議長をおろさせていただく。

事務局 (鈴木) 若松副会長	本日は長時間にわたりご審議いただき感謝する。それでは閉会のご挨拶を副会長よりお願いしたい。 あいさつ 展示解説
--------------------------	---